

介護老人保健施設 ライフサポートひなた

黒川 良輔 (リハビリテーション部)

功 績	練馬区の若手セラピスト代表として毎日新聞朝刊 (3月1日付) にセラピストとして掲載された功績
推 薦 者	リハビリテーション部 森田 新平
推 薦 理 由	地域におけるリハビリテーション職の役割・必要性を多職種・利用者に広め、当法人の信頼を高める功績と判断したため、理事長賞に推薦させていただきます。

内 容

黒川は2016年から練馬区事業者連絡協議会 通所リハ部門 副会長として活動し、練馬区における多職種協働を牽引しておりました。

具体的には介護支援専門員向けのリハビリテーション講座を年5回・事例検討会への参加を年3回実施し、多職種 (Dr/NS/CM/行政職) にリハビリテーションの理解を深めることで、事業所間・多職種間の信頼を着実に得ていました。

今回毎日新聞社から、生活期でがんばっている若手理学療法士を紹介したいと東京都理学療法士協会に依頼があり、発表会参加の実績が評価され練馬区代表として推薦され取材を受ける事になりました。

掲載内容は「利用者のできたに喜び」を感じる理学療法士の職業紹介です。

- ①入所リハビリでは、在宅生活を具体的に想定してリハビリに取り組み、自主トレを利用者に促し運動量を確保して在宅復帰を促す。
- ②訪問リハビリでは専門知識を駆使して福祉用具に利用やバリアフリー化の提案・家族指導をするなど具体的な介入内容。
- ③介護支援専門員との関わりの重要性について掲載されております。

掲載後は、通所利用者・介護支援専門員・他施設の理学療法士の方から「新聞見たよ!」「理学療法士の同業として誇れる掲載だった」等、大きな反響があり、以前にも増してライフサポートひなたリハビリテーション部に対する称賛のお言葉を頂けるようになりました。